

川根茶の魅力、心ゆくまで体感 11/27

町内2カ所を巡って川根茶を楽しむ「川根時間」が開催されました

「第6回川根時間」(同実行委員会主催)が千葉山智満寺(上長尾区)と道の駅「フォーレなかかわね茶茗館」(水川区)にて開催されました。今回は、品評会入賞茶の体験茶席をはじめ落ち着いた時間を楽しむ催しが「智満寺」会場で、手揉み茶の体験や「茶歌舞伎」(味や香りから品種を当てる遊び)など活気ある催しが「茶茗館」会場で開催されました。また「茶茗館」会場では、釜炒り茶をグラスで味わう「TACHIKAMA」やシェイカーでカクテル風に仕上げた「おくひかり」の試飲が、来場者の注目を集めました。



▶ まろやかな口当たりのカクテル風「おくひかり」

鮮やかな茶葉と奥深い味わいが人気の「TACHIKAMA」

12/4 力を合わせて災害に強い地域へ

「地域防災の日」に合わせて町内各地区で防災訓練を実施

町内各地区にて防災訓練が行われ、合わせて3,475人が参加しました。

492人が参加した徳山区では、防災資機材の取り扱いや初期消火の訓練、応急手当講習などを実施しました。中でも、土のう作りや救護テント開設、要救護者の搬出訓練、炊き出しなどでは、約50人の小中高生が率先して取り組む様子が見られました。直里哲次区長は「若い世代の住民が積極的に参加してくれて心強い。各世代の住民が協力し合うことで、災害に強い地域づくりに励みたい」と決意を新たに話しました。



炊き出しでも中高生が活躍



航空支援を求める際に目印となる「地名入りシート」も展開

温泉街ににぎやかな声響く 12/6・12/7

1957年12月7日に温泉が初めて湧き出たことを記念し毎年開催

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合主催の「温泉感謝祭・供養祭」が同温泉街イベント広場で開催され、多くの来場者でにぎわいました。会場では、山の幸をふんだんに使った鍋料理や甘酒、八つ頭などが振る舞われたほか、赤石太鼓の演奏やフラダンスの披露、「第11回和紙のあかり展」受賞作品の展示が来場者を楽しませました。また、てんぐや山伏にふんした組合員やたいまつを持った地元住民らが温泉街を練り歩き、使われなくなった道具を供養するとともに温泉街のさらなる発展を祈願しました。



④てんぐがイスや風呂おけを供養⑤人気だった温かい鍋料理

訓練重ね、迅速かつ的確な救助を

11/9・11/10

近年の登山・ハイキングブームによる入山者増加を受けて訓練を実施

島田消防署川根北出張所は、青柳橋にて山岳救助訓練を実施しました。

この訓練は、隊員間の連携確認と救助スキルの向上を目指すことを目的として、山間地にて人が高さ20mの崖下へと滑落した事故を想定して行われました。

隊員らは「大丈夫ですか」「頑張ってください」と声を掛けながら、沢から橋の上へと要救助者を引きあげました。大石勝哉所長は「入山する際には、天候や自分の能力に配慮して、無理のない行動を心がけてほしい」と呼び掛けました。



2日間で延べ22人の職員が参加し、救助手順を確認した

11/22 香りが強く大玉！「川根ゆず」

「しずおか食セレクション」認定、作付面積・生産量が県内一の町内で、収穫作業が行われました



長男の靖明さん(左)とともに、収穫作業に汗を流す美昭さん(右)

町内で生産される「川根ゆず」の収穫が最盛期を迎え、標高約650mに位置する樽脇美昭さん(久保尾区)の農園でも収穫作業が行われました。

この日は、美昭さんと長男の靖明さんが、鋭いとげに注意しながら鈴なりに実った黄色い実をていねいに収穫しました。

美昭さんは「今年は天候不順による影響もなく、大ぶりで皮も厚い、香りの強いゆずに育ってくれた」と感慨深げに笑顔で話しました。

収穫されたゆずの一部は、ジュースやジャムなどにも加工され、県内外に出荷されます。

さらなる奥大井地域の振興を目指して

11/24

「移動知事室」を町内で開催、川勝知事が来町しました

川勝平太知事が県政の課題や要望を現地で確認する「移動知事室」が、町内で開催されました。

文化会館では、静岡市井川地区の代表者や鈴木町長、まちづくり観光協会の望月孝之会長、一般社団法人エコティかわねの神東美希事務局長が、川勝知事や県幹部職員と「奥大井地域の振興」について意見を交わしました。神東事務局長が井川地区の住民と合同で発行している「いかわね新聞」を紹介すると、川勝知事は「奥大井を盛り上げていくためには、両地域の連携が不可欠」と話し、取り組みに賛同しました。

▶意見交換会終了後、サテライトオフィス実証実験の様子を視察しました



観光振興やインフラ整備などの課題について意見を交わした